

4月度 LAPIS通信

ご進級・ご入学、おめでとうございます

ご進級・ご入学、おめでとうございます。

当たり前のように進級する。当たり前のように入学する。

なんとありがたいことなののでしょうか。

「ありがたい」とは「有り難い」

「有ることが難しい」「なかなかない」ことです。

あの震災以降、「当たり前」のことを「有り難い」と思える人が非常に多くなってきた気がします。ありがたいことです。



田中が担当している勉強会で、拉致被害者の蓮池 薫先生をお迎えして講演していただきます。ご案内を入れております。よかったですぜひいらしてください。LAPIS関係者は無料です。参加されたい方は、教室までお電話下さい。

tel 047-443-1010

ありがたいと思えば幸せを感じられます。たくさんの幸せを感じるために、日本人がDNAとして本来持ってきた、この「ありがたい」という感覚、同じように「おかげさま」という周りに感謝する感性。この感性を磨き上げることができたなら、本当にありがたいことです。

そのためには、今あることを暗くとらえるのではなく、すべて明るく前向きに、プラス思考でとらえる。そのようにとらえられるようにするためには、周りにいる大人（先生＝先に生きている人）が、楽しく、明るく、前向きに、プラス思考で行動している。それを後輩たちが真似る。

これで行けるのではないかと考えます。

「努力して成功すると幸せが舞い込むのではない。毎日を、そして、今この生きている瞬間を、幸せに思うと成功が舞い込んでくる」 そう、成功すると幸せが舞い込むのではなく、今をありがたいと思うと成功が舞い込んでくるのです。

多くのことわざや、相田みつをさんの心に響く言葉など、そう言えば、「今このときを大切に」と伝えてくれている気がします。

まずは、今このとき、この瞬間に全力を尽くす。今このときの感情を味わい尽くす。今このときに真正面に向き合う。そして感謝し、喜ぶ。

そんなことが毎日をすばらしい日々にしてくれる気がします。

お伝えするのが遅くなりましたが、4年間数学を指導してくれた長谷川祐嘉が、おうちのお仕事を継ぐために、3月一杯で退社いたしました。みなさまからのこの4年間の応援、ありがとうございます。



今回も文集から。。。

卒業した中3生が入試前日に書いてくれた作文を3つご紹介します。



「LAPISでの思い出、入試に立ち向かう自分への手紙。 将来の自分へ、そして後輩たちへ」

★・・・ 今までの自分とこれから ・・・★

今までLAPISでやってきて、途中からだったからとても不安だったけれど、先生や友だちがあたたかく話しかけてきてくれて、本当に嬉しかったし楽しかった。三年生になって、受験生になって、受験までまだまだだと思っていたのによいよ明日になった。今は不安で一杯だけれども、今まで自分がやってきた事を信じて入試に臨みたい。明日は何が起こるか分からないし、難しい問題にたくさんであうかもしれないけど、応援してくれている人がたくさんいる事を忘れずに最後まであきらめずに頑張りたい。受験生になってから、さぼってやらない日もあったけれど、今まで過ごしてきた一日に、全く悔いはない。だから落ち着いて臨んでほしい。そして、入試が終わったら、まずは母に感謝を伝えたい。勉強がうまくいなくて、母に当たってしまう事があったけれど、どんな時も一番に支えてくれて、「大丈夫だよ。」と声をかけてくれて、ここまでこれたのも、本当に母のおかげだと思っている。だから絶対に一番に伝えてほしい。そして将来、どんな自分になっているか分からないけど、まずは受験という壁をのりこえて、第一志望に受かって、笑っていてほしい。あの時に頑張った良かったなと思えるような自分でいてほしいと思う。これから受験を迎える後輩たちは不安がたくさんあると思うけど、自分にできる事から始めてやってほしい。つらい事は多いと思うけど、最後に支えてくれて、自信につながるのは、今までやってきた自分だから、一日一日大切に頑張りたい。そして、つらくなったら笑顔で頑張れ！応援しています！

★・・ 「最後の意気込み」 ・・★

二月十二日月曜日（祝日）。この日は前期入試前日。そう。なんだろう。案外明日って感じがしない。私立前もそうだった。それはさておき、とうとう明日にせまった前期入試に対して僕が取り組んできたことを振り返ろう。まず、夏休み。部活はまだ続けていて、午前中は授業に出られなかった。でも後悔はしていないかな。楽しかったし。その疲れで寝てしまうことは反省したけど。夏休みは本格的に勉強づけの毎日。今思うとそれなりに頑張っていたね。自分なりに。夏休みが終わると気が抜けちゃって勉強時間も減ったね。そこは少し後悔。十一月になって部活が終わってから僕と受験との本格的な対決が始まった。周りに比べたら遅い。いや、遅すぎる。毎日家に帰ってきたら四時に自習館へ行き、コツコツと努力した。それで勝ちとった私立合格。本当に心の底から歡ぶことができた。でも僕が行きたいところは公立高校。ここからが本番だ。と再スタート。

私立を合格してからというもの、苦手だった国語と英語ができる。できる！楽しくてたまらなかった。しかし、理科と社会まったくできない。と感じた。そこから、理科と社会を重点的に勉強した。ここで第一志望校を決めようとしていた実力テストでは、今までで最高偏差値がでた。決めた。絶対に薬園台高校に前期で合格する。応援してくれているみんなのためにも。最も自分のためにも。そして迎えた今日。入試前日。振り返ってみると悔いはない。何より今日友だちに気付かされた。「人生に一度の公立前期入試、楽しんできてください。」この言葉でなんかもやもやしていたものがなくなった。今までやれることはやってきた。明日は自分の努力と気合いを全力でぶつけてこよう。楽しもう。今まで支えてくれたみなさん。ありがとう。明日はどんな結果になっても、「ぼく自身」をすべてぶつけてきます。みんなで笑おう。二月二十日。言いたいことはこれだけ。

★・・ L A P I S がくれた魔法 ・・★

私がL A P I Sに入ったのは、中学二年生の夏でした。でも私は自分なりの勉強をしたかったので、やめてしまいました。それでも定期テストでは一応上位取れていたの、私には謎の自信があったのです。しかし、気付いたらもう三年の冬。十二月になろうとしている時です。ここに来て初めて自分の勉強法が正しいのか、不安になりました。そこで私は、L A P I Sとは別の塾の体験に行きまし

た。そこで真っ先に感じたのは、「先生方や生徒の笑顔あふれる、あのLAPISに戻りたい」という思いでした。なぜあの頃、LAPISを思い出したのか、皆の笑顔が脳裏に蘇ったのか、自分でもよく分かりません。それでも私にとって、LAPISは何か特別な存在であることはまちがいありませんでした。実際に私が入塾したのは十二月の冬期講習直前。私立入試に皆が備えている中、私はゼロからのスタートだったといってもおかしくないでしょう。皆がすらすら問題を解き終える中、井の中の蛙状態だった私は不安と後悔で覆い尽くされたような気持ちでした。それでも今の私は、笑顔です。今、笑えています。全てはLAPISのおかげです。LAPISは勉強だけでなく、「生き方」そのものも教えてくれました。笑顔は人を幸せにする最高の薬です。二年生の頃はあまり深く考えずにいたこの言葉は、なぜか私の脳の片隅にいつも残っている、大切な言葉へと変わっていきました。私を支えてくれた、助けてくれたLAPISへの最高の恩返しは、合格すること、ただそれだけです。その恩返しのためにも、明日受験してきます。いや、合格してきます。明日の自分、頑張れ！

そして最後に、後輩の皆さんへ。皆さんはきっと、私よりLAPIS歴は長いと思います。だからこそ、LAPIS生としての誇りを持ってほしいです。誇りを持って、今を精一杯過ごしてください。笑ってください。あなたの笑顔という魔法の薬は、人を幸せにし、その人の笑顔が、あなたを幸せにします。



卒業生一人ひとりの作文を読むとさまざまなことが頭をよぎります。

みんなひとりひとり本当によくがんばってくれました。この生徒たちに出会えたこと、ともに過ごせたことを深く感謝しています。ありがとう。



お手数ですが、内容物をご確認の後、お子さまを通じて
ケースのみ4月27日（金）までにご返却ください。

各学年・クラスでLAPIS通信配布時に生徒にも説明するために、
ご兄弟で受講されているご家庭には2部、3部と同じものが届いてしまいます。
申し訳ございません。
不要であればケースに入れて戻していただければ、こちらで再利用いたします。

高校受験 **LAPIS**

TEL & FAX 047-443-1010 田中携帯 090-4822-0137

道野辺本町1-4-1 谷村ビル2F

東武鎌ヶ谷駅東口 徒歩2分 県道船橋我孫子線から見上げるとLAPISです みちのべ歯科となり
<ホームページ「塾LAPIS」で検索 <http://www.lapis-sonrisa.com>>